

令和8年度三重県ツキノワグマ被害対策人材育成講座

第2回 クマの追い払い等先進技術対策を学ぶ

「人」が中心となった捕獲・追い払いなどの対策に代わり、ICT・AI・データ分析などの先進技術を活用することで、クマ対策を担う自治体職員や関係者などの安全を確保し、労務負担を軽減するなど、新たな対策の導入が進んでいます。

本講座は、最新技術の活用方法を理解し、地域の実情に応じた対策の企画・実装能力を高めることをめざして開催します。

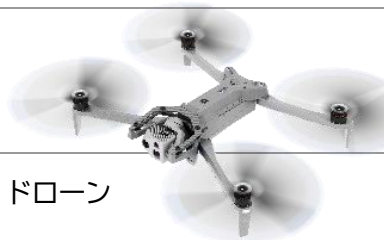
日時： 令和8年7月24日（金）10:00 から 15:30

場所： 三重県熊野庁舎(熊野市井戸町 371)および
熊野市防災公園野球場(屋根付練習場)
(熊野市有馬町 3537)

対象： 県内の行政職員(環境・農林・危機管理部門など)、
警察職員(地域課・生活安全課など)、
林業関係者(森林組合等)、有害鳥獣捕獲従事者、
その他(鉄道関係者、自治会関係者など施策を実施する立場の方)



時間	内容	場所
10:00~10:05	開会のあいさつ 三重県獣害対策課	三重県熊野庁舎 6階大会議室
10:05~11:05	【講演】 「先進技術の導入における技術の進歩やクマ対策への可能性」 東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 准教授 左村 公氏	
11:05~12:30	【事例紹介】 先進技術紹介 (ドローン、トレイルカメラ熊検知 AI、現地調査省力化ソリューション) 【ワークショップ】 「2040年のクマ被害対策を考える ～人口減少社会を見据えた持続可能なDX推進による対策とは～」 NTTドコモビジネス株式会社	
12:30~13:30	昼休憩 (※14:00までに各自で熊野市防災公園に集合)	
14:00~15:30	先進技術の実演展示会	熊野市防災公園 野球場(屋根付練習場)



講師の案内

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 准教授 左村 公氏

農村計画学及び農業情報工学を専門としており、情報通信技術を活用した中山間地域の活性化や地域資源の維持の可能性についての研究を多く行っている。

近年では、四足歩行ロボットでブドウの省力栽培への導入や獣害対策、クマの追い払いなどへの応用へ可能性を広げ、中山間地域での先進技術導入の様々な可能性について実証実験を通じた研究を行っている。



NTTドコモビジネス株式会社

全国で深刻化するクマの出没や被害の増加といった社会課題に対し、デジタル技術を活用した取り組みを展開。AI や IoT、ドローンなどの先進的な ICT と通信ネットワークを組み合わせ、クマの早期発見や情報共有、現場業務の効率化などを支援している。

自治体と連携しながら、地域の安全確保と職員の負担軽減に取り組むとともに、持続可能な地域づくりへの貢献を目指す。

NTTドコモビジネス(旧:NTTコミュニケーションズ) オフィシャルサイト : <https://www.ntt.com/index.html>

会場までのアクセス

会場:三重県熊野庁舎(熊野市井戸町 371)

お車でお越しの方は、熊野庁舎駐車場をご利用ください。

お問合せ先

三重県 農林水産部 獣害対策課 捕獲管理班

TEL 059-224-2020 、 FAX 059-224-3153

E-Mail jtaisaku@pref.mie.lg.jp



申込方法

三重県電子申請届出システム(二次元コード)

(<https://logoform.jp/f/ECLzn>)からお申し込みいただくか、

下記に必要事項をご記入のうえ、お問い合わせ先まで FAX 又は、E-Mail でお申し込みください。

申込期限:令和 8 年7月17日(金)17:00まで



	氏名	電話番号(当日連絡がつく電話番号)	メールアドレス	所属
1				
2				
3				
4				
5				

※ご記入いただいた連絡先は、研修会の中止等を連絡する以外の目的で使用しません。